

医療法人 大社会

久喜すずのき病院

~ Suzunoki Hospital ~

Kuki Suzunoki Hospital

2024

精神保健福祉士

随時

就職説明会実施中！
オンラインでも行えます！

職員採用案内





心療内科・精神科
久喜すずのき病院
SUZUNOKI HOSPITAL

当院では、訪れた患者様の
「心と身体」・「疾病と日常」を分離することなく
人間をトータルにとらえた治療とリハビリテーションを
第一の目的としています。

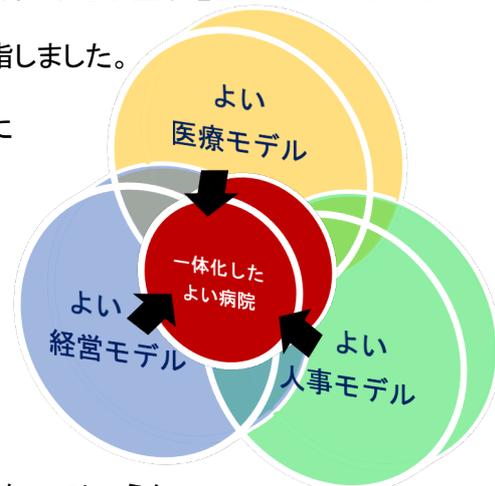
「よい病院」を目指す すずのきを目指す「よい病院」とは

昭和63年12月、久喜すずのき病院は、149床の精神科単科の病院として開院しました。当時から当院の理念を、『「心と身体」・「疾病と日常」を分離することなく、人間をトータルにとらえた治療とリハビリテーションを第一の目的とする』と掲げました。

入院治療は「社会から隔離しない」。できるだけ開放的な雰囲気の中で治療をできるように環境づくりや心がけています。「社会から隔離しない」ことは、退院後は住み慣れた地域に戻っていき、無理なく復帰し、地域生活を送っていくことにもつながります。

開院当初より、まずは病院として、3つの側面をもつ「よい病院」をつくることを目指しました。

- よい「医療モデル」 できるだけ短期間で症状をやわらげ、生活の場所に戻していく
- よい「経営モデル」 たくさんの方が入院し、退院していくことによって安定した経営状態を維持する
- よい「人事モデル」 患者さんを治すことでやりがいを得るとともに、豊かな個人の生活を両立できる労務環境を造る



「よい病院」の本質は、「よい医療」が提供できることが第一です。いうまでもなく、病気が早く治り家に戻れるようになることが、患者さまとご家族の一番の願いではないでしょうか。

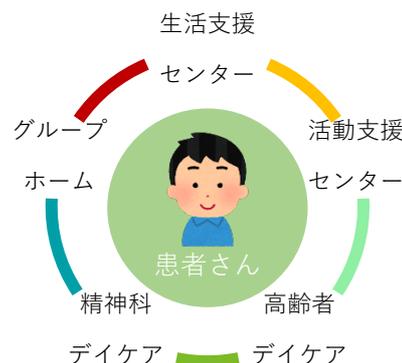
長期入院や社会との隔離という方法でなく、効果的なマンパワーの管理や継続したケア・システムを採用した精神科医療を行うことによって「早期退院」を実現しています。

退院が「ゴール」ではない 地域や生活にも目を向ける

久喜すずのき病院をはじめとして、地域に密着した包括的なサービスを提供し続けています

医療が急性期化すればするほど、地域との連携は重要と感じています。病院だけ機能していても「良い病院」とは言えず、機能する地域と一緒に育み、連携する事もできて「良い病院」と考えています。

そのためには、医療、介護、ソーシャルワーク、カウンセリング、様々なリハビリテーションが総力を結集するだけでなく、病院外の福祉、ケアマネージャー、訪問看護等とも情報を共有することによって、機能する『良い地域(人的環境)』を構築する事が必要です。『良い病院は、良い地域とともにある』と言えます。



すずのきグループには

こんな

先輩方が約60名が働いています

2022.4現在



それぞれの部署で「専門力」を身につける!

① 地域連携室

基本的な役割は、病院からの転院の受け入れ依頼や、家族や施設等からの入院相談を受けて調整をします。直接外来で相談希望の方にも対応することも少なくありません。

入院をした方は、入院治療を受け、目指すところはまず「退院」。ただ退院を進めるのではなく、退院した先の生活を見据えた調整が必要です。サービスの提案、受け入れ先や地域での役割分担を含めたカンファレンスを実施することもあります。

病院勤務ですので、MSWのイメージに近いです。医師をはじめ、看護師、心理士等との連携も必須です。部署の壁なく、フラットにできるのが当院が連携しやすい特徴の1つです。

② 精神科デイケア

すずのきのデイケアは「大規模デイケア」で施設基準を取っているのが特徴!

利用者さんも職員もとても多いため、いつもデイケアは賑やかな印象です。

日常生活を「より豊かに」、病気になるでも「次のステップへ繋げていける」ように、それぞれの個別の目標を一緒に考え、生活力の向上を目指していきます。

プログラムの運営、個別の面談、支援者としての治療的な対応を学んだり、知識として蓄えることができますし、利用者さんとなによりも楽しい時間を過ごすことができるということは、非常に魅力的な部署だと思えます。

③ 高齢者デイケア

認知症になっても、在宅生活を続けられることは、本人、家族ともにとっても嬉しいであると思います。その期待に応えられるのは高齢者デイケアです。

現場で利用者さんのケアをしながら、家族やケアマネジャーなどの支援機関への連絡を行います。

看護師や作業療法士、介護福祉士などと連携しながら、本人の「強み」「今残っている能力」を考えつつ、デイケアでできることは何かを考えていきます。

④⑤ 生活・活動支援センター ⑥ グループホーム

地域で生活する当事者を「応援する」「地域の体制を作る」ことが、生活支援センター、活動支援センター、グループホームでの共通する特徴の一つです。

関係機関や行政と連携し、一緒に地域をつくっていくことができることは、地域にある事業所の一つの特徴であり、とてもやりがいのある業務です。

本人が考えた選択を大切に、本来持っている力を発揮していくために、力になれる部署であると考えています。



すずのきグループの

いいね!ポイントを紹介します

すずのきの先輩に聞いてみました

すずのきのいいところ!

入職後の院内研修が充実しています

入職後も「学べる」「専門性について考える」機会があります

わかばの会

新人PSWは年間を通して【わかばの会】に参加する機会があります。新人ならではの悩みや自分自身を振り返る機会にもなります。

PSW勉強会

PSW配属の部署や各クリニックにも声をかけて勉強会を実施しています。精神保健福祉法や、社会資源・制度、サービス、面接技術についても様々な形式で実施しています。他職種の講師の会もあります。

院内研修

すずのき病院の歴史から、1日病棟内での研修、デイケアなどの関連部署での研修も行っています。

年齢が近い先輩が多いので、不安なところは相談しながら進めることができます

休暇や有休を比較的取りやすい印象です!

異動でキャリアアップができる

どの職種ともフラットに話せます

ワーク・ライフ・バランスができてると感じます

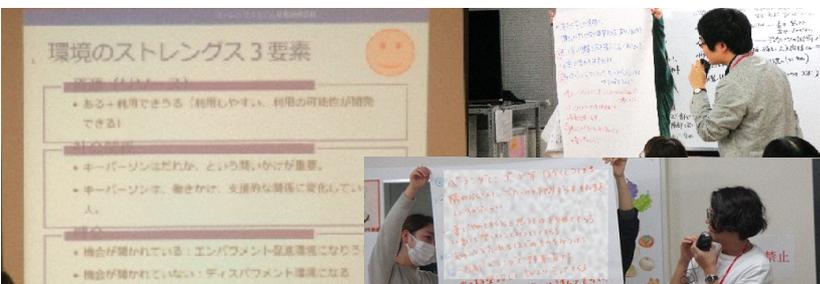
仕事と私生活のメリハリをつけやすい職場です!

大学の先輩がいて安心してできました

病院見学はしましたか?

精神科のイメージがきっと変わります。雰囲気/環境/明るさが良いところです。

働く環境を考え、ここを選んだ一つ理由です★



職場の先輩方がお答えします

Q1 異動はありますか？

A1 異動の可能性はあります。法人全体を知ることや、キャリアアップを目的をしています。本院勤務の他に、サテライトのクリニックや支援センター、グループホームなどに配属されます。

Q2 勤務形態はどのようになっていますか？

A2 週休2日制です。部署や宿直によっては日、祝日も出勤する場合があります。

Q3 休日や夜間の呼び出しはありますか？

A3 基本的にはありませんが、職種や機関の役割を連携体制をつくっていますので、急遽の対応が必要なときは連絡することがあります。

Q4 採用した実績の大学や専門学校を教えてください。

A4 下記の大学について、直近で採用実績があります。

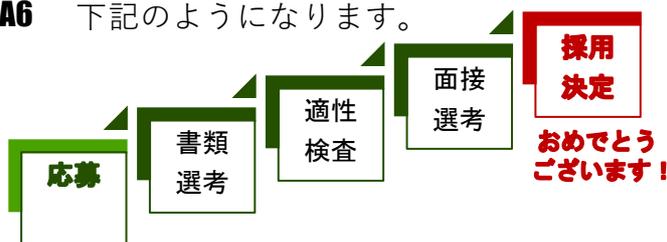
- ・大妻女子大学
- ・国際医療福祉大学
- ・日本社会事業大学
- ・明治学院大学
- ・文教大学
- ・埼玉県立大学
- ・東京福祉専門学校
- ・日本福祉教育専門学校
- など

Q5 もっと詳しく話を聞きたいのですが・・・？

A5 当院の地域連携室採用担当までご連絡ください。当面の間は、大人数での説明会や病院見学は行わない予定ですが、個別にて対応できるかについては、その都度検討させていただきます。ご希望の方は、オンラインでも対応しておりますので、ご検討ください。

Q6 応募から採用の流れを教えてください。

A6 下記のようになります。



見学してから応募もできます

久喜すずのき病院採用ホームページより、見学フォームに送信してエントリーしてください。病院見学会の日時調整後、当院に来院していただきます。病院の雰囲気や実際の精神保健福祉士が活躍する現場をぜひご覧ください。

応募についてのお問い合わせ

医療法人 大社会 久喜すずのき病院
担当：地域連携室 採用係

〒346-0024
埼玉県久喜市北青柳1366-1
TEL **0480-23-6540** (代表)
0480-23-6848 (地域連携室直通)
URL: <https://www.suzunoki.net/>

Youtube
配信中★

